

輪 作

畑作農業においては、輪作による地力維持の必要性が古くから強調されてきた。輪作に関する農民の意識は、寒冷地帯から温暖地帯へと移行するに従い薄れ行くように感じられるが、これには当該地域における畑作農業の発展過程、経営規模、栽培作物等の相違など幾つかの理由があろう。しかし、地力の増進を畑で如何に多肥栽培をしても、肥沃地の生産量に追いつかぬ事実是否定しえないし、特産の農産物の産地移動の原因の一つが連作障害にあったことも事実である。最近久し振りに北海道のかつての豆作地帯の実態にふれる機会を得たが、かつては、60%を越す豆作率を示し、綜虫による連作害に悩まされ、豆類生産に危険信号の上げられていた地帯が、今では豆作率が30%台、これに代わって根菜類、か蓂類、牧草等地力維持的作物が導入され、農民自身が連作の恐ろしさ、輪作の必要性を認識し、輪作の組み立てに努力しつつある姿に接し心強く感ずるものがあった。限られた耕地で、国民の必要とする食糧を完全に自給することは不可能であるとしても、ただでさえ狭い耕地が年々減少していく中で、耕地利用率がさらに低下の一途を辿りつつあるわが国農業の姿は憂うべきことである。

昨年夏のアメリカ大豆輸出規制に伴う食生活の不安、石油危機に続いて食糧危機が世界的問題としてクローズアップされている今日、輪作を導入し、耕地の有効利用を図り、食糧の確保を真摯に考えるべき時である。ひとりわが国のみが、海外の農産物に依存し、安閑としていることは許されない。

(農林省農事試験場畑作部長 尾崎 薫)

目 次 (第8巻第4号)

牧草畑の雑草防除

<農林省農事試験場 高林実・野口勝可>

1. はじめに…………… 2
2. 暖地型牧草畑の雑草防除…………… 2
3. 寒地型牧草畑の雑草防除…………… 8
4. む す び…………… 12

昭和48年度冬作関係除草剤試験

成績概要

<財団法人 日本植物調節剤研究協会>

1. 供試除草剤の動向…………… 12
2. 試験結果の概要…………… 12

昭和47、48年度牧野草地関係

除草剤試験成績概要

<財団法人 日本植物調節剤研究協会>

<第1表> 供試除草剤・試験場所… 15

<第2表> 昭和47、48年度牧
野草地関係除草剤試験
成績判定結果…………… 15

昭和48年度秋冬作芝生関係除草剤

試験成績概要

<財団法人 日本植物調節剤研究協会>

昭和48年度秋冬作芝生関係除草剤
試験成績審査判定結果一覧表…………… 17

昭和49年度水稲作関係除草剤第一

次適用性試験成績概要

<財団法人 日本植物調節剤研究協会>

<第1表> 供試除草剤および試験
実施地域…………… 29

<第2表> 判定結果…………… 31

新登録除草剤一覧…………… 33

<農林省農蚕園芸局植物防疫課>

植調協会だより…………… 35